



MOLYのY  
短編集



織田文佳

「櫛くん凜ちゃんママ」

誰かに呼びかけられた。

振り向くと見覚えのある人だ。

「ゆうかちゃんママ！」

くろさわサン。ゆうかちゃんママだ。

「あ！いいですよ。凜ちゃんママで。言いにくいでしょ？」

だって、私、櫛を産んだ覚えはあるけど、育てた覚えはないもの。あんな悪魔の子！

ルナの心のつぶやきであった。

## 凜ちゃんちの謎の執事

---

もういっちょ、幼稚園ママ友ネタ。

ゆうかちゃんママと話をしていたことの話だ。

「お宅には執事さんがいらっしゃるでしょ？すごいですね」

と、突拍子もないことを言われた。

「執事？そんなに裕福じゃありませんけど」

「外国人の執事さんって聞きましたよ、凜ちゃんに」

「ああ、そういうことですか！」

回線が繋がった。

「いえ、その...義弟です。

日本人ですよ。

拓という名前なんですけど、なぜか主人がウィリアムって呼んでいて。

変でしょ？

主人の会社で一緒に仕事をしているし、同居もしてますから。

凜との関係は叔父って解ってないんですよー」

「そういうことだったんですねー」

あの引きこもりの悪魔、ちゃんと弟を名前で呼んでおけ！

外に出て人と交流する、家族のこととか考えておけよ。

ルナの心の叫びであった。

了

砂澤凜ちゃんちの家族構成：続柄は凜ちゃんから見て

パパ：続款（とうかん／アスタロト）

ママ：月絵（つきえ／ルナ）

双子のお兄ちゃん：權（かい）

凜ちゃん本人：凜（りん）

下僕→修正→パパの弟：拓（たく／ウィリアム）

アスタロトの世を忍ぶ仮の名前、これでいいのか忘れたのでマイナー書き換えするかもしれませんがね。

翠「信じらんない。『サド侯爵全集』を買う人がいるなんて！どれだけ変態なんだ！」

遙「悪かったね。俺以外にも買うヤツいるって」

数時間後。

翠「こんな時間だ！これ借りていくね」

遙「買う人がいるなんて信じられないっていったのどこのどなたでしたっけ？」

翠「ハマった。ってことで借りてきます」

遙「その前に謝れ、腐女子」

了

丸〇のオアゾ店に行ったら売っていたので思いついた話でした。

読んだことないんですが、サド侯爵が美少年をどうしたこうしたと書いてありそうなので腐女子は嵌るんじゃないかと…。

このくらいは18禁じゃなくても大丈夫っすよね？

短編はまだまだつづきます。

エセルウルフ（以下エセ）「石野千鶴子ってゆとりじゃないよね？」

藤原翠（以下翠）「うん。若く見えるけど20代後半なはず…」

エセ「じゃあ、偶々知らなかっただけか。この間ね、俺が四十路って言ったら『よそじってなんですか？調べておきます』って言われた」

翠「後で調べるっていうところがいまどきの若者だね。それ多分偶々じゃないよ。私にも心当たりがある」

（回想シーン）

翠「ちーちゃんありがとう。感謝感激雨霰です！」

石野千鶴子（以下ちー）「え？あられ？あらしじゃないんですか？」

翠「そりゃあ、嵐の曲！」

ちー「嵐のファンですから！」

翠「そ、そう？変なこと聞くけど、こたわぎで『渡る世間』の次に続く言葉は？」

ちー「え？渡鬼？『渡る世間は鬼ばかり』ですか？」

（現在）

翠「お笑い好きだからウケを狙ったボケだと思ったんだけどねー」

エセ「それ、天然ボケだろ？」

了

【ひとこと】

べ、別にゆとり教育の人をバカにしているわけじゃないからね。

実は実話。石野千鶴子さんのモデルの方すみません。ネタにしちゃった。

ご本人から要請あれば削除します。

郷原総合病院待合室。

看護師「裕ちゃん先生、サボってないで早く診察してくださいよ」

マルファス「はいはい」

翠「マル…郷原先生って裕次って名前でしたっけ？」

マルファス「そう、そう。兄貴が慎太っていうの」

翠「へー」

マルファス「名前の由来に気がついてないな」

翠「由来？」



マルファス「石原だ」

翠「石原？ああ、慎太郎と裕次郎ですか！」

マルファス「親が熱烈なファンだったからねー」

翠「いっそのこと、病院名、一文字変えて石原にすりゃあいいんじゃないですか？」

マルファス「そうするか」

翠「お兄さんのお子さんの名前、伸晃と良純ですか？」

マルファス「そんなわけないだろっ！仕事に戻るわ」

了

マルファスがまだ医者だったころの話でしたー。

マルファスの世を忍ぶ仮の名前が郷原裕次とわかったところで終了です。

当時は名前公表してないだろうけど、マルファスは良純と同じ歳なので良純になってたかもしれませんね？

## MOLYのY 短編集

<http://p.booklog.jp/book/56900>

著者：織田文佳

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/molyoff/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/56900>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/56900>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ